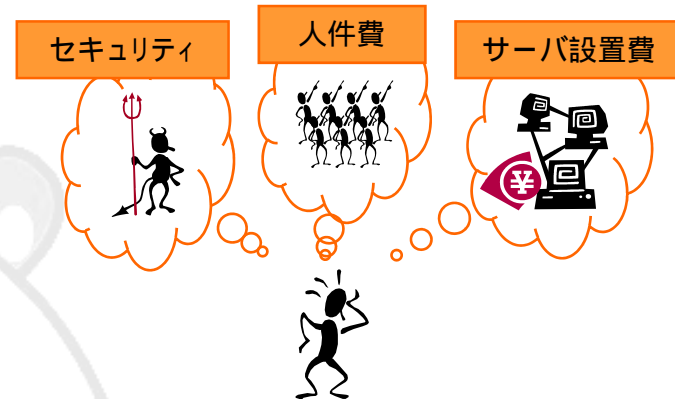


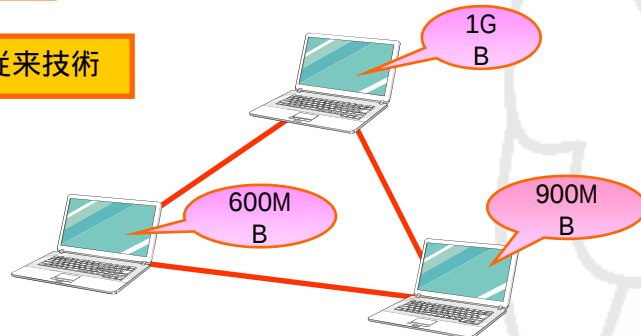
背景 電子データとファイル共有

PC所持率の普及やネットワーク技術の進歩により、電子データを扱う機会が大幅に増加している。それに伴い、ファイルサーバの利用やファイル共有ソフトの流通が盛んになった。しかし、問題は山積み...



目的 既存技術から一歩進んだ新共有機能実現へ

従来技術



ファイルを分割し、LAN内PCの余剰スペースへ保存
→サーバ不要の安価なシステム導入

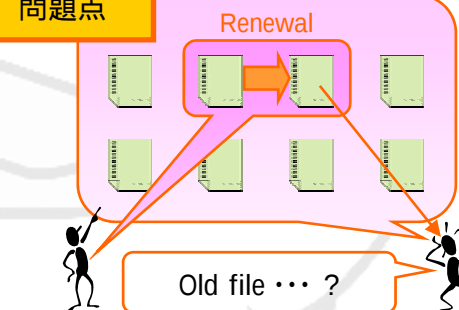
共有ファイルの自動更新と冗長分割
→煩雑なファイル管理からユーザを解放

ユーザ鍵と分割ファイルの暗号化
→悪質ユーザへの情報流出を防止

PCの電源オン・オフ(ネットワークへの参加・離脱)が自由
→システム利用の効率化

But...

問題点

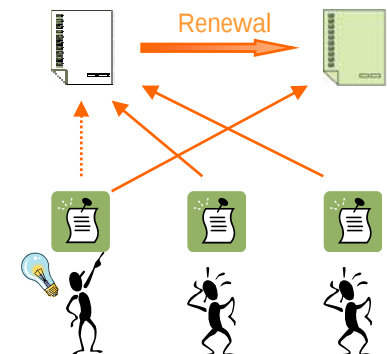


更新前後の区別が難解

ファイルを更新する際、旧ファイルとは別に、全く新しいファイルとして個別に保存
→旧ファイルとの区別が難しく、それぞれの探索が煩雑...

更新されない位置情報

それぞれ個別のファイル位置情報を所持していたため、ある個人がファイルを更新した際
→他のユーザの位置情報が更新されず、新しいファイルへたどり着けない...



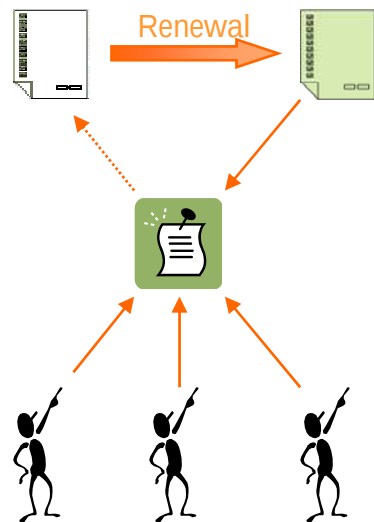
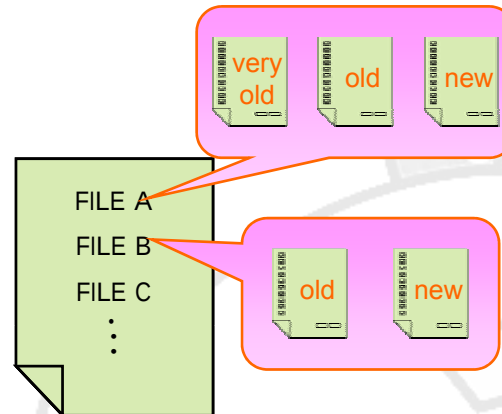
“新共有機能” より安全に、より効率的に、より使いやすく

新共有機能 ここが新しい！

更新履歴による旧ファイル追跡

ファイル毎に更新履歴を生成し、
新旧ファイルを一括管理

→ファイル復元時に更新日時毎
にダイアログ表示を行い、新旧
ファイルから復元したいファイル
を一発選択！（GUI図参照）



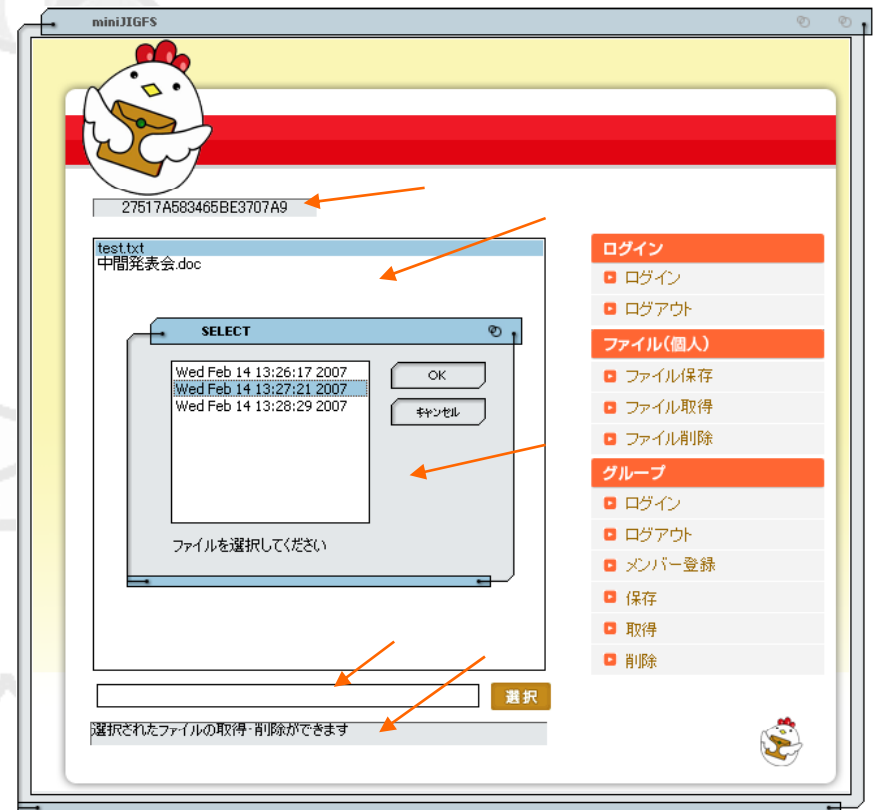
位置情報の自動更新

ファイル位置情報をシステム参加
ユーザー全体で共有管理

→個別に更新が行われても、
ファイル位置情報は共有であるた
め、長期間システムへ参加しない
ユーザも常に最新の位置情報を
入手可能！

インタフェース 見やすいGUI！

ボタンクリックで簡単にログイン・分割・結合
→複雑なネットワーク設定やファイル探索が不要



ユーザID表示ウィンドウ
更新履歴ダイアログ
状態表示ウィンドウ

仮想ファイル一覧
ユーザ入力ボックス